

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名：京丹後市

## 1. 平成26年度 行財政改革推進計画について【総括表】

計画の概要等	背景	本市では、少子高齢化が進む一方、依然として経済状況も厳しく自主財源の確保が困難な状況である。加えて、合併団体への国の財政支援策として受けている合併特例債の発行が平成31年度をもって終了するとともに、普通交付税も平成27年度から5年間で段階的に減額するなど一層厳しい状況が想定される。		
	必要性	合併特例措置の逡減に加え、税収の大幅な増収が見込めない厳しい財政状況であっても、限られた財源で市民満足度の更なる向上を図るとともに、持続可能な行財政運営を行うために、事務事業の効率化や職員定員の適正化、公共施設の見直しなど、歳出規模の抑制につなげる行財政改革を引き続き行う必要がある。		
	概要	第2次京丹後市行財政改革推進計画等に基づき、平成22～26年度までの5か年において、本計画による業務改革・組織改革・投資改革の取り組みを実施することにより、一層の行財政改革を推進する。また、これらの取り組みにより、各種財政指標の改善を図る。		
	効果	本計画の推進により、市民本位・市民起点の行政サービスの向上が期待できるとともに、効率的・効果的で持続可能な行財政運営を推進することができる。		
平成26年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	行革効果（単位：人・千円等）
広域連携事業支援	公共交通利用促進事業	高齢者(65歳以上)が北近畿タンゴ鉄道(KTR)を利用する場合に片道運賃の上限を200円とすることで、安価で便利な公共交通として利用の促進を図った。	利用者数 20,484人(前年比11.0%増)	10,220千円
	丹後地域特産品販路開拓事業	丹後地域における2市1町が連携し、都市部での特産品等の販売及び情報・魅力発信事業を展開した。	購入者数22,912人(前年比1,277人増)、販売実績額17,707千円(前年比1,097千円増)	872千円
	文化振興推進事業	丹後文化芸術祭実行委員会が開催する、市民のライフステージに応じた文化・芸術活動の交流、各種展示会、発表会及び研修会を支援した。	舞台部門(5事業)、展示部門(2事業)、セミナー(2事業)を実施	249千円
	織物業活性化推進事業	丹後ファッションウィーク開催委員会のさまざまな事業活動を通じて、丹後織物や産地のPR及び織物事業者の国内外の販路開拓が図られ、織物業及び関連産業の振興・発展に寄与した。	・丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」開催 ・大学・専門学校と連携し、丹後織物を使用した作品制作・制作発表 ・丹後織物雑貨作成 ・2020年に向けた新規事業検討	3,982千円